

NACCS地区協議会資料

私たちは、お客様と共に歩み、
「人・物・国」をつなぐNACCSを通じて、
国際物流の発展に貢献します。

平成28年度
輸出入・港湾関連情報処理センター(株)

〔2016.6.10修正〕

目 次

I. 事業計画の概要	P1
1. 平成27年度活動報告	
2. 平成28事業年度事業計画の概要	
II. 平成27年度の主な取組み	P6
1. NACCSセンターの株式売却	
2. 組織変更について	
3. CY搬出入関連業務	
4. NACCSの海外展開	
III. お客様満足度向上への取組みについて	P13
IV. システム参加状況について	P15
V. プログラムの変更について	P17
VI. 第6次NACCS移行に向けてのお客様の準備について	P21

I. 事業計画の概要

1. 平成27年度活動報告

(1) システムの安定的運用とサービス向上

■ システムの安定的運用

想定しうるリスクへの対応策を事前に講じるなどプロアクティブ・マネジメントを実施し、システムの障害発生を未然に防ぐなど、24時間365日、システムの安定的運用に努めました。

また、システムベンダー、関係省庁との連携を強化し、システム障害対応訓練等を実施しました。

- ・NACCS稼働状況: 100%(港湾サブ: 100%、貿易管理サブ: 100%)
- ・センター設備及び運用状況等について、平成27年10月から11月に総合的な点検を実施
- ・非常参集訓練(徒歩出社訓練)、安否確認のほか訓練、災害対応訓練をシステム障害対応訓練と合同で実施
- ・障害時のお客様サポート訓練を3回実施(4月、8月、11月)

■ お客様へのサービスの向上

お客様のニーズを十分把握し、お客様の視点に立ったサービスの提供に努めるため、各種セミナーの拡充や、お客様への情報提供の充実を図りました。

- ・各種セミナー開催 : 67回
- ・NACCS掲示板による情報提供: 各種情報の迅速な提供、画面レイアウト改良等
- ・ヘルプデスクにおけるお客様対応時間の短縮の改善施策を実施
⇒総合満足度は78.4%となり、前年比3.3%改善
- ・NACCS地区協議会開催実績 平成27年6月～7月 参加者375名
- ・NACCS地区協議会委員宛に「NACCS地区協通信」をメール21回配信

■ システムの利用促進

- ・利用促進実績: 685件
- ・大井ふ頭でCY搬出入関連業務をご利用のお客様に向けた説明会を実施
⇒CY搬出入関連業務に係るトラフィック件数実績: 平成27年3月1,616件 ➡平成28年3月7,227件

(2) 次期NACCSの開発・円滑な導入に向けて

■ 詳細仕様最終報告(案)とりまとめ

次期NACCSについては、平成29年10月の稼働を目途として、関係省庁及び民間のお客様と協議しつつ、「総合物流情報プラットフォーム」の構築をめざし開発を進めました。

平成27年度においては、専門部会等において詳細仕様の検討を進め、平成28年2月4日開催の第6回専門部会において、「第6次NACCS詳細仕様の最終報告(案)」を取りまとめました。また、3月4日に開催しました「第8回情報処理運営協議会」において、詳細仕様最終報告(案)が了承されました。

- ・WG及び専門部会の開催(WG7回、専門部会2回)
- ・詳細仕様中間報告説明会の開催(全国20箇所で開催)

■ 民間業務の拡充の検討

「総合物流施策大綱(2013-2017)」(平成25年6月閣議決定)でうたわれている、NACCSへの国土交通省のコンテナ物流情報サービス(Colins)機能の反映による民間業務の拡充について反映させる機能等を検討しました。

また、NACCSのお客様に新たに損害保険会社を追加し、損害保険業務とNACCSの連携を図ることにより民間業務を拡充することについて、包括審査登録の手続等を検討し、詳細仕様に検討結果を反映しました。

■ システムの信頼性の向上の検討

情報セキュリティの確保、バックアップ機能の向上等を図り、自然災害やサイバー攻撃等に強いシステムの実現に向けて、切り替え処理の改善等について検討しました。

(3)新規事業

■ 諸外国へのNACCS型貿易関連システムの導入

ベトナムにおけるVNACCS導入の実績を生かし、ミャンマーにおけるMACCS導入を着実に実施するとともに、その他各国へのNACCS型貿易関連システムの展開の可能性について検討しています。

- ・ミャンマー関税局との間でコンサルティング契約を締結
- ・技術協力の枠組みの下、JICA専門家として「システム利用者管理」及び「ヘルプデスク構築」にかかる業務実施契約を締結。

■ 海外システムとの連携

PAA(Pan Asian e-Commerce Alliance)における協議及び出港前報告を電子的に行う体制を整備した際にNACCSと接続した海外のサービスプロバイダーとの連携等を通じた国境を越えた電子情報交換を推進するとともに、海外システムとの連携について検討しています。

(4)経営基盤の強化

- コーポレート・ガバナンスの強化 ⇒ 2名の社外取締役を選定
- コンプライアンスの徹底
- 経営の効率化の推進
- リスク管理の強化

(5)企業の社会的責任(CSR)

- ・災害時における国や地方自治体との綿密な連携体制の構築
- ・地域における清掃活動やベルマーク及びペットボトルキャップ等の収集活動などボランティア活動の実施

(6)株式売却

財務省関東財務局において、政府が保有する義務のある議決権の過半数以外の株式の一般競争入札による売却が行われ、新たな株主をお迎えすることとなりました。

2. 平成28事業年度事業計画の概要

平成28事業年度事業計画の概要については以下のとおりです。

(1) システムの安定的運用とサービス向上

当社は、今後とも民間業務(貨物管理等)を含む輸出入等関連業務を安定的かつ効率的に提供していくため、引き続きシステムの安定的運用とお客様に対するサービス向上等に努めます。

■ お客様へのサービスの向上

- ・お客様の視点に立ったサービスの提供に努め、各種セミナーや、情報提供を充実
- ・ヘルプデスクの「お客様満足度調査結果」に基づく改善施策を実施
- ・NACCS地区協議会の開催

■ システムの利用促進

- ・国際物流に携わる方々の加入促進に努め、NACCSの完全普及に向けた取り組みを実施
- ・「コンテナヤードにおける搬出入業務等サービス」等を、積極的なプロモーションを実施

(2) 「総合物流情報プラットフォーム」の構築

次期NACCSの開発・円滑な導入をはじめ、システムの機能向上に継続的に取り組むとともに、新規事業の推進による周辺サービスの拡大を図ることで、港湾・空港における利便性・信頼性の高い、簡易で効率的な「総合物流情報プラットフォーム」の構築に努めます。

このため、平成28年度においては、引き続き次期NACCSや新規事業の導入といったシステムの機能向上、多角的サービスの提供等の取り組みを推進します。

(3)次期NACCSの開発・円滑な導入に向けて

次期NACCSについては、平成29年10月の稼働を目途として、関係省庁及び民間のお客様のご協力をいただきながら、「総合物流情報プラットフォーム」の構築をめざし開発を進めていきます。

平成28年度においては、詳細仕様に基づき開発を進めるとともに円滑な導入に向けた準備を進めます。

(4)新規事業

国際貿易と国際物流の発展、ひいては我が国の国際競争力強化に寄与するため、新規事業(目的達成業務)に取り組みます。

(5)経営基盤の強化

当社は、社会に信頼される企業をめざし、今後とも良質なサービスを低廉なコストで提供していくために、引き続き実効性に優れたコーポレート・ガバナンスの強化、コンプライアンスの徹底、経営の効率化の推進及び人材の育成に努めるとともに、引き続きリスク管理及び情報セキュリティを強化してまいります。

また、お客様、株主様をはじめとするステークホルダーの皆様と、広く社会全体に対し説明責任を果たしていくために、継続的な情報公開及び開かれた組織体制の構築にも重点を置き、経営基盤の強化を図ります。

(6)企業の社会的責任(CSR)

当社は、NACCSによる電子化等を通じた、ペーパーレス化を推進することによるCO₂の削減や、災害対策基本法に基づく指定公共機関として、災害時における国や地方自治体との綿密な連携体制を構築することや、ボランティア活動などを通じ、社会に貢献するよう努めます。

(7)株主還元

当社は、株主様との建設的な対話を通じて、NACCSの安定的運用とサービスの向上に努めるとともに、さらに、NACCSと親和性の高い新規事業等を実施することで、株主様を含むお客様企業の成長を後押ししてまいります。

また、株主様の負託(含む配当)にもお応えできる企業をめざし、持続的な成長を実現し、中長期的な企業価値を高めるように努めます。

Ⅱ．平成27年度の主な取組み

1. NACCSセンターの株式売却

本年1月、財務省関東財務局において、政府が保有する義務のある議決権の過半数以外の株式4,999株の一般競争入札による売却が行われました。その結果、売却株式すべての落札が決定され、当社は、本年3月31日付けで、株主名簿の書き換えを行い、新たな株主をお迎えすることとなりました。

(参考)

○背景

NACCSセンターは、平成20年、「独立行政法人整理合理化計画」（平成19年12月24日閣議決定）により特殊会社として民営化。

NACCSセンター株式は、電子情報処理組織による輸出入等関連業務の処理等に関する法律（NACCS法）において「できる限り速やかに売却する」とこととされている。

○売却方法等

一般競争入札により売却（財政制度等審議会答申（平成27年2月）

- ・売却株式数 4,999株（政府保有義務である過半数を除く全量）
- ・入札数量 10株～1,990株

○入札結果（平成28年2月18日財務省関東財務局発表）

- ・入札者数 60者
- ・入札株式数 5,980株
- ・落札者数 48者
- ・落札株式数 4,999株（売却株式数全て落札）
- ・落札総額 2,752,628,000円
- ・加重平均落札単価 550,636円
- ・最高落札単価 800,000円
- ・最低落札単価 522,000円

2. 組織変更について

NACCSの安定運用や次期NACCSの更改、NACCSと親和性の高い新規事業の立ち上げなどの事業を効率的・効果的に実施するため、本年4月1日付で組織を一部変更致しました。

1. システム企画部の設置

今まで以上に開発と運用相互に配慮したシステム開発・運用を実現し、NACCSの利便性の向上等を図るため、NACCSの企画・開発と運用管理を集約し、システム企画部を設置します。

2. 経営戦略企画部の設置

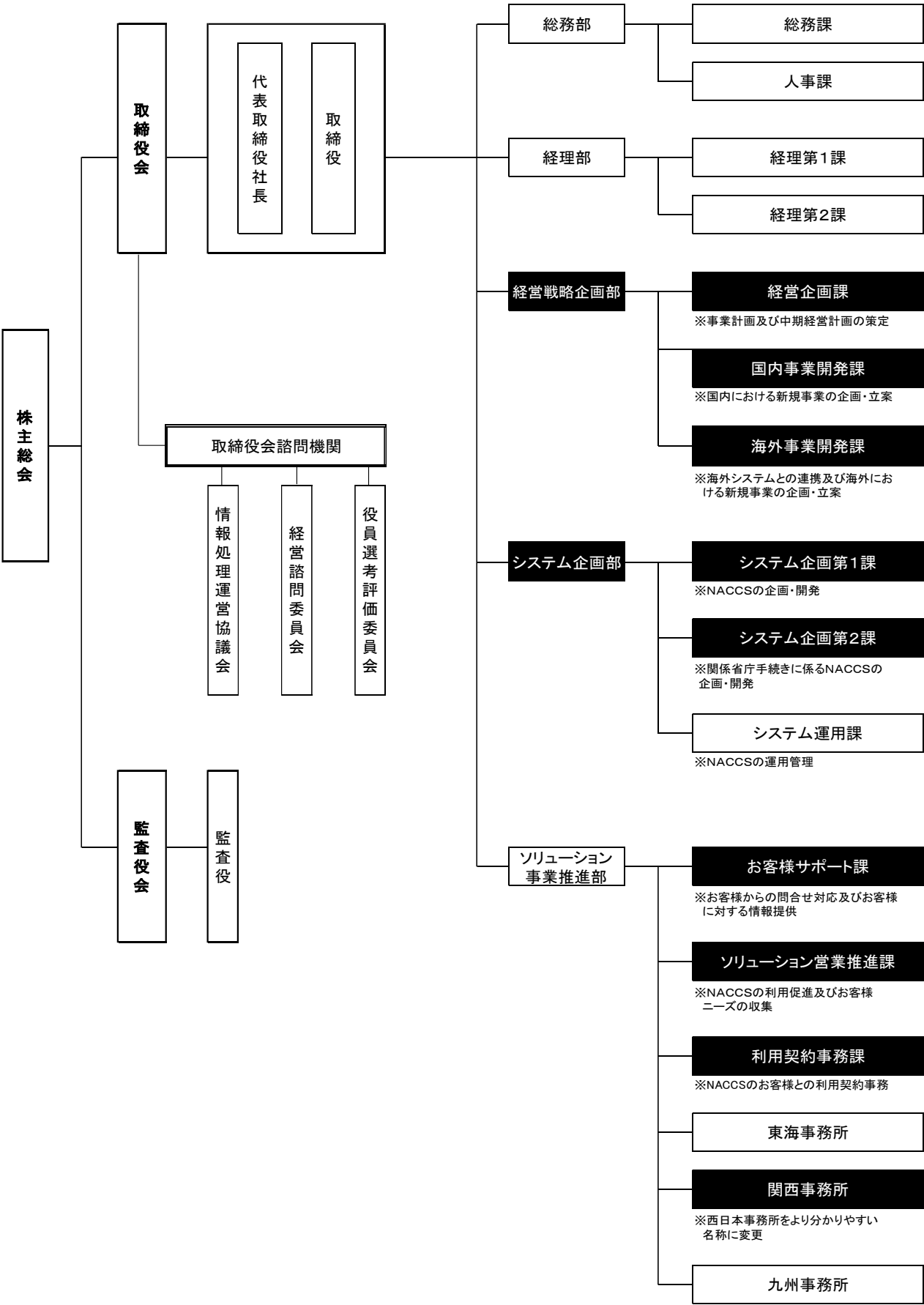
NACCSと親和性の高い新規事業やNACCS型システムの諸外国への導入等の海外事業への対応を強化するため、経営戦略企画部を設置します。

3. ソリューション事業推進部の強化

本社、各事務所が対応しているお客様からのお問合せ業務を本社へ集約するとともに、利用契約手続き業務の効率化を行い、お客様対応の品質向上等強化を図ります。

なお、お問い合わせ業務の集約は、準備が出来次第実施してまいります。

※新組織については、次ページの組織図を参照ください。



3. CY搬出入関連業務

港湾物流をより効率的かつ正確な業務処理を実現するため、NACCSセンターではCY搬出入関連業務のシステム化を通じて、各利用者間の情報共有が可能となるサービスを提案し、積極的なプロモーション活動を行っています。

(1) ブッキング情報登録業務

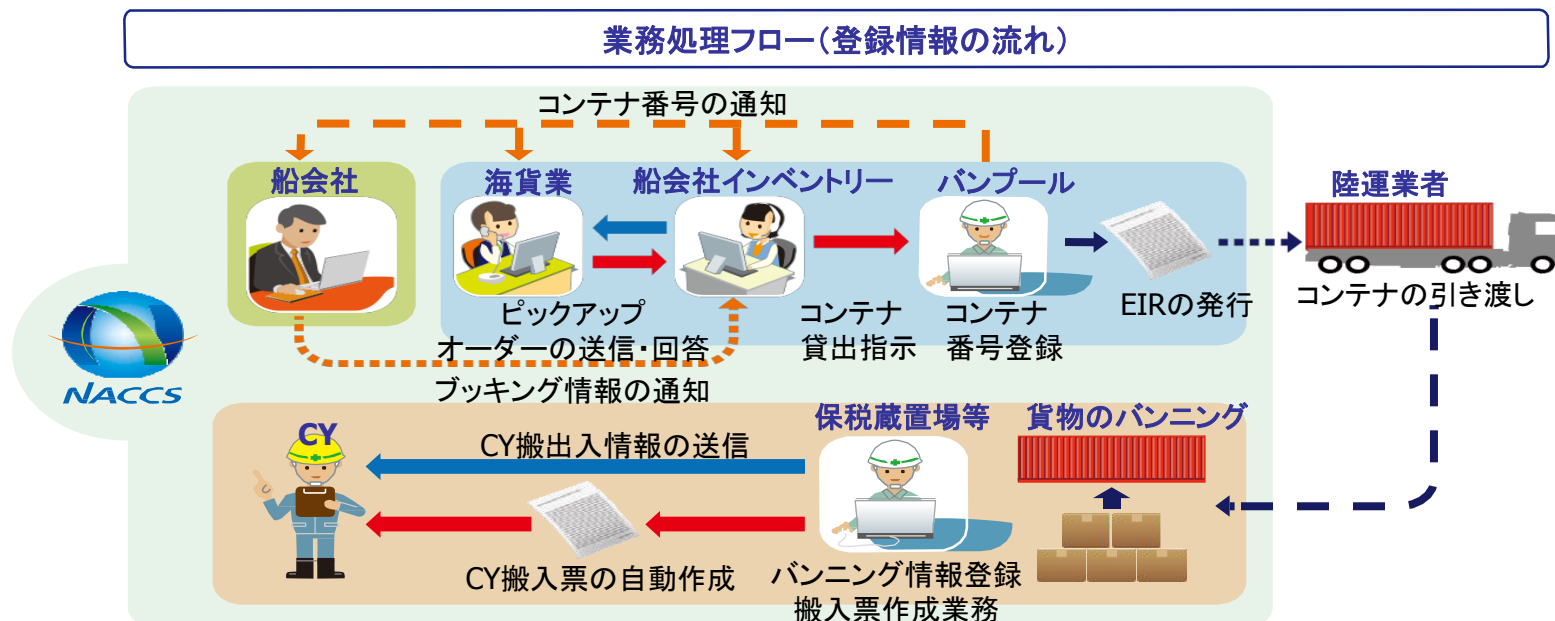
船会社がブッキング情報をNACCSに登録する業務です。登録されたブッキング情報を使って、共通フォーマットによる作業の共通化・効率化が実現します。

(2) 空コンテナピックアップ業務

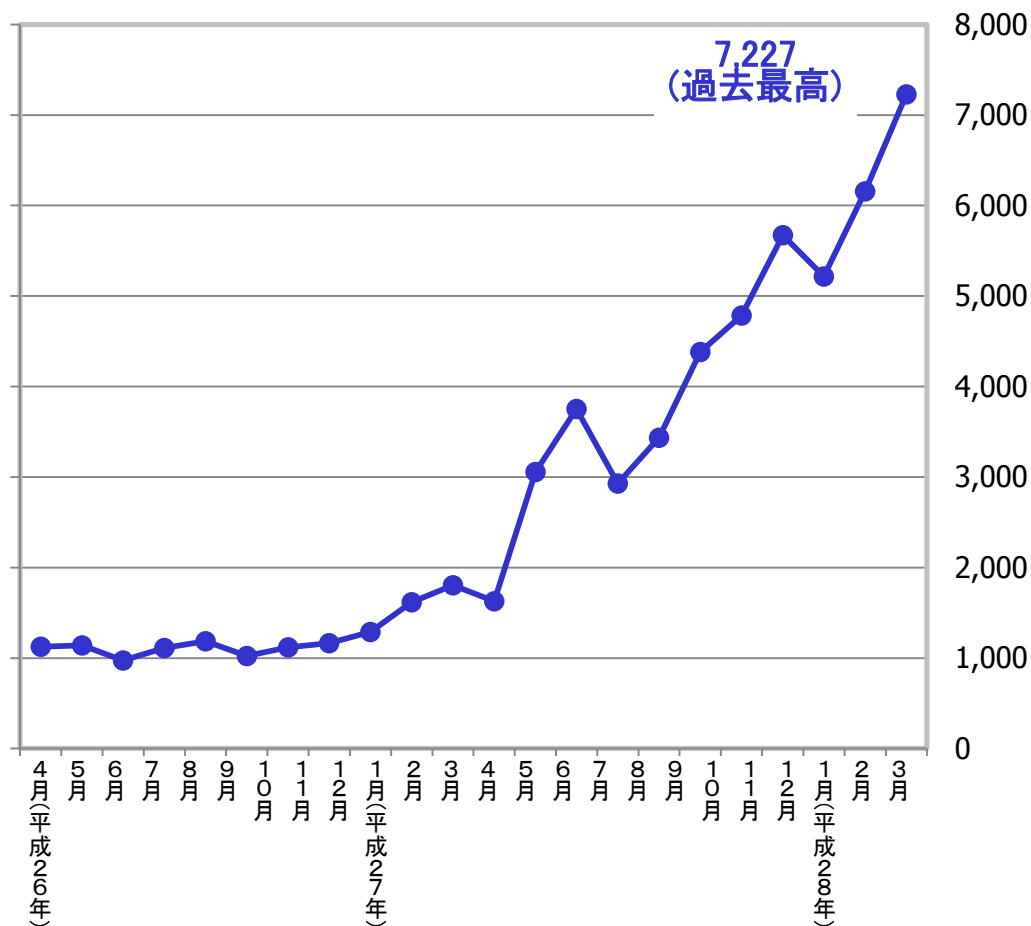
輸出用の空コンテナピックアップオーダーを、NACCSの共通フォーマットで行うことができる業務です。

(3) 搬入票作成業務

NACCSにコンテナ搬入票の情報を登録する業務で、コンテナ搬入票の作成と併せて搬入先のCYへコンテナ搬入票を送信することができます。



平成27年6月よりご利用が伸び始め、平成28年3月に過去最高の7,227トラフィックを記録しています。



CY搬出入関連業務の月間トラフィック数の推移

4. NACCSの海外展開

ミャンマーにおけるNACCS型システムの導入に係る支援業務(平成28年中稼働予定)

ミャンマーへのNACCS型通関システム(MACCS)導入について、平成28年中稼働の実現に向け、以下の業務を実施

- (1) 無償資金協力の枠組みの下、ミャンマー関税局(MCD)のコンサルタントとして、調達関係支援やプロジェクトの進捗監理等を実施
- (2) 技術協力の枠組みの下、JICA専門家として、「システム利用者管理」及び「ヘルプデスク構築」にかかる業務の運用・管理を中心にMCDに対し説明、助言、指導を実施

【参考】

- ◆ 平成26年 8月 弊社とミャンマー関税局との間でコンサルティング契約を締結(履行期間:平成26年8月18日～平成28年12月31日)
- ◆ 平成26年10月 ソフトウェア開発契約、ハードウェア調達契約(履行期間:平成26年10月27日～平成28年11月30日) <弊社:契約締結のための支援>
- ◆ 平成27年 6月 弊社とJICAとの間で「システム利用者管理」「ヘルプデスク構築」にかかる業務実施契約を締結(履行期間:平成27年6月5日～平成29年2月10日)

(参考) ベトナムにおけるNACCS型システムの導入に係る支援実績(平成26年4月稼働済み)

ベトナムへのNACCS型通関システム(VNACCS)導入について、財務大臣の認可を得て、以下の業務を実施

- (1) JICA事業「ベトナム国税関近代化のための通関電子化及びナショナル・シングルウィンドウ導入計画準備調査」を実施
- (2) 無償資金協力の枠組みの下、ベトナム税関総局(GDVC)のコンサルタントとして、調達関係支援やプロジェクトの進捗監理等を実施
- (3) 技術協力の枠組みの下、JICA専門家として、「システム利用者管理」にかかる業務の運用・管理を中心にGDVCに対し説明、助言、指導を実施
- (4) 稼働後1年を経て日系企業に対し運用状況のヒアリングを実施
 - ◆ VNACCS 本体に起因するシステム障害の報告はない
 - ◆ ベトナム税関が課題であった制度運用を改善
 - ◆ 順調に稼働しており、利用者の評価は概ね好評

(参考)

人材交流プログラムに関する「ダガンネット社(Dagang Net Technologies Sdn Bhd)」との覚書の締結について

平成28年3月17日(木)、輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社とダガンネット社(Dagang Net Technologies Sdn Bhd)(本社:マレーシア)は、マレーシアのダガンネット社において、人材交流プログラムに関する覚書を締結しました。

当該覚書は、それぞれの国際的なビジネス活動での協働を探究し、かつ、近い将来国際的なビジネスにおいて重要な役割を担うであろう自社の社員を育成し、相互理解を深めることを目的としたものです。

当社は、当該覚書に基づく人材交流プログラムにより、国際的なビジネス感覚を備えた人材を育成することで、将来の国際的な新規事業開発につなげていくことを目指しています。

今回、人材交流を行うこととなったダガンネット社は、マレーシアの主要な電子商取引サービスプロバイダーであり、輸出入者、貿易関係業者、流通業者間の国際貿易手続きを円滑化・効率化するために、ペーパーレスな電子的税関関連サービスの確立を先導してきました。(www.dagangnet.com)

1989年の設立以来、ダガンネット社はマレーシアのナショナルシングルウィンドウ(www.mytradelink.gov.my)のオペレーターとして、生産者、輸出入者、フォワーダー、船舶代理店、ターミナル・オペレーター、銀行、港湾当局、許可発給機関、そして税関から成るトレーディングコミュニティ間の税関関連業務の電子処理や関税電子納付、電子データ取引を促進してきました。

また、平成25年8月29日(木)に当社との間で、「出港前報告制度」に関して、接続契約(サービスプロバイダー)を締結しています。



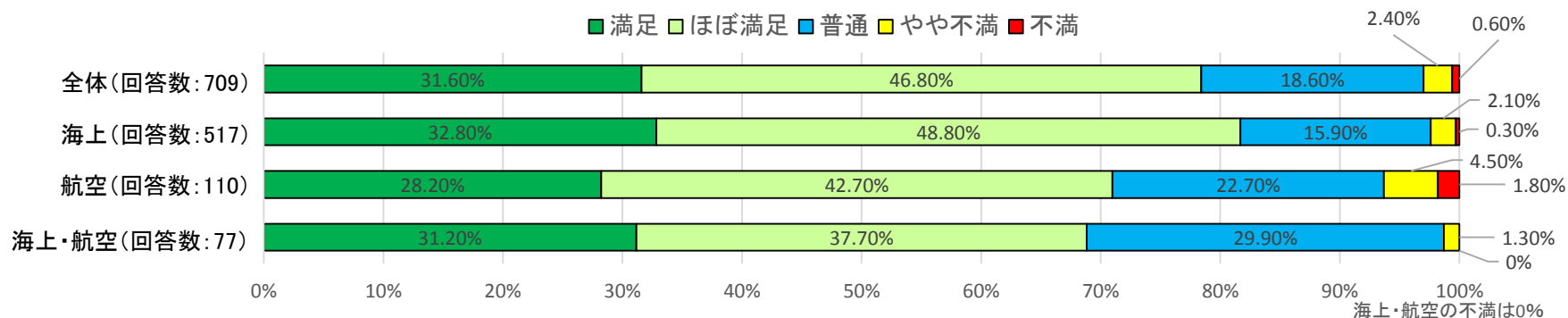
Ⅲ. お客様満足度向上への取組みについて

ヘルプデスク顧客満足度調査結果(平成27年10月実施)

1. 総合満足度

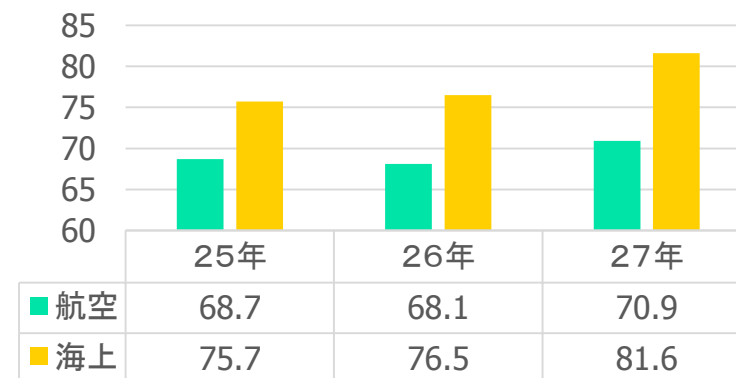
インターネット上のアンケート調査でご回答いただいたお客様から、約32%の「満足」、約47%の「ほぼ満足」の評価をいただき、総合満足度は合計78.4%となりました(前年比+3.3%)。

一方、約3%の方から「やや不満」・「不満」との評価をいただきました(前年比-2.2%)。



2. お客様のご意見やお褒めのお言葉(抜粋)

- ・対応が丁寧・親切である
- ・回答が早い、即答してくれる、的確である
- ・説明回答がわかりやすい
- ・電話のつながりが悪い
- ・回答までの時間がかかり過ぎる
- ・担当者によって質問の理解度が低い



総合満足度(海上/航空)の推移 [単位: %]

3. 改善への取組み状況について

ヘルプデスクでは、回答時間の短縮への継続的な取り組みや、業種別の「理解度」「正確さ」「分かり易さ」に着目した研修の実施など、「お客様の声」に基づいた施策を行うことで、総合満足度の更なる向上を目指しています。

【満足度向上施策】

- 受付オペレータの知識・技量向上
- 掲示板・FAQ等お客様への提供情報の更なる充実

4. お客様の求める品質:「早く、正しく、親切に」をめざして！

引続き「お客様の声」を募り、より多くのお客様から、「ありがとう。たすかりました。」とお言葉をいただけるよう、サービスの向上に努めてまいります。

お気づきの点がございましたら、お客様サポート課までお知らせください。

本年も10月頃に満足度調査を実施する予定です。
皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

IV. システム参加状況について

1. システム契約者数【航空】

(平成28年3月末現在)

	社 数			事業所数		
	平成28年 3月末	増減 (対27.3末)	平成27年 3月末	平成28年 3月末	増減 (対27.3末)	平成27年 3月末
航空会社	111	11	100	370	35	335
航空貨物代理店	161	△1	162	590	△3	593
保税蔵置場	188	8	180	420	31	389
混 載	205	7	198	615	9	606
通 関	562	81	481	907	101	806
機用品	20	0	20	32	1	31
銀 行	23	△1	24	26	△1	27
輸出入者	1,607	309	1,298	1,657	331	1,326
汎用申請者	876	37	839	1,138	56	1,082
合 計	3,242 (3,753)	437 (451)	2,805 (3,302)	4,540 (5,755)	547 (560)	3,993 (5,195)
対27年3月末比	115.6% (113.7%)			113.7% (110.8%)		

(注) 1. 【海・空共用】の事業所については、システム契約者数【海上】及びシステム契約者【航空】の両者に加算している。

2. 下段()書きは、業種単純合計を記載している。

2. システム契約者数【海上】

(平成28年3月末現在)

	社 数			事業所数		
	平成28年 3月末	増減 (対27.3末)	平成27年 3月末	平成28年 3月末	増減 (対27.3末)	平成27年 3月末
船 会 社	204	13	191	292	14	278
船舶代理店	921	19	902	1,647	29	1,618
C Y	423	△5	428	1,082	△7	1,089
保税蔵置場	1,520	7	1,513	3,453	24	3,429
NVOCC	298	16	282	509	22	487
通 関	1,356	103	1,253	2,357	111	2,246
海 貨	408	49	359	899	108	791
銀 行	41	△3	44	44	△3	47
輸出入者	1,704	317	1,387	1,801	338	1,463
汎用申請者	876	37	839	1,138	56	1,082
バンプール	2	0	2	4	0	4
合 計	5,625 (7,753)	483 (553)	5,142 (7,200)	9,650 (13,226)	586 (692)	9,064 (12,534)
対27年3月末比	109.4% (107.7%)			106.5% (105.5%)		

(注) 1. 【海・空共用】の事業所については、システム契約者数【海上】及びシステム契約者【航空】の両者に加算している。

2. 下段()書きは、業種単純合計を記載している。

V. プログラム変更について

1. 平成27年度プログラム変更実施項目等

緊急プログラム変更 : 15件 (うちNACCSに係るもの12件、貿易管理サブシステムに係るもの3件)

2. 平成28年度プログラム変更について

- ① 次期システム更改時まで法律改正及び緊急案件に限って実施(第6回情報処理運営協議会(平成26年3月)にて確定)
- ② 実施結果は、次回情報処理運営協議会(平成29年3月)にて報告予定

平成27年度プログラム変更実施項目等

1. 緊急プログラム変更

【NACCS】(No.5は官民共通案件、詳細参照)

No.	事 項	リリース時期
1	「旅客予約記録情報(PNR)」業務に係る追加改変(「航空会社コード」を必須から任意に変更)	2015年5月29日
2	事前教示(減免税)の汎用申請への追加	2015年9月30日
3	原産地証明書識別の見直し	2015年12月20日
4	「旅客予約記録情報(PNR)」業務に係る追加改変(入出力項目の新規項目追加・削除等)	2015年12月20日
5	「出港前報告一覧照会(IML)」業務における照会可能者チェック機能の見直し	2015年12月20日
6	法務省 旅客予約情報(PNR)のシステム化	2015年12月20日
7	植物検疫関連業務におけるIE11対応	2015年12月20日
8	「延滞税額計算照会(ICD)」業務における延滞税計算処理の見直し	2016年3月20日
9	行政不服審査法の改正にかかる改変	2016年3月20日
10	動物検疫関連業務における輸出eCert対応	2016年3月20日
11	動物検疫関連業務におけるIE11対応	2016年3月20日
12	輸入食品監視支援業務の変更11件	2016年3月20日

【貿易管理サブシステム】

No.	事 項	リリース時期
1	輸出許可等に使用される別表第一のリスト改正	2015年10月1日
2	NACCSバックアップセンタと貿易管理サブシステムメインセンタ間の接続	2015年10月18日
3	輸入割当のHSコードと商品名の自動入力 ほか33件	2016年3月27日

2. 緊急プログラム変更 詳細

【NACCS】

No.	事 項	現 行 内 容	変 更 内 容
5	「出港前報告一覧照会(IML)」業務における照会可能者チェック機能の見直し	入力者に関係しないB/Lも照会可能となっている。	入力者に関係するB/Lのみを抽出するように変更する。

(参考)

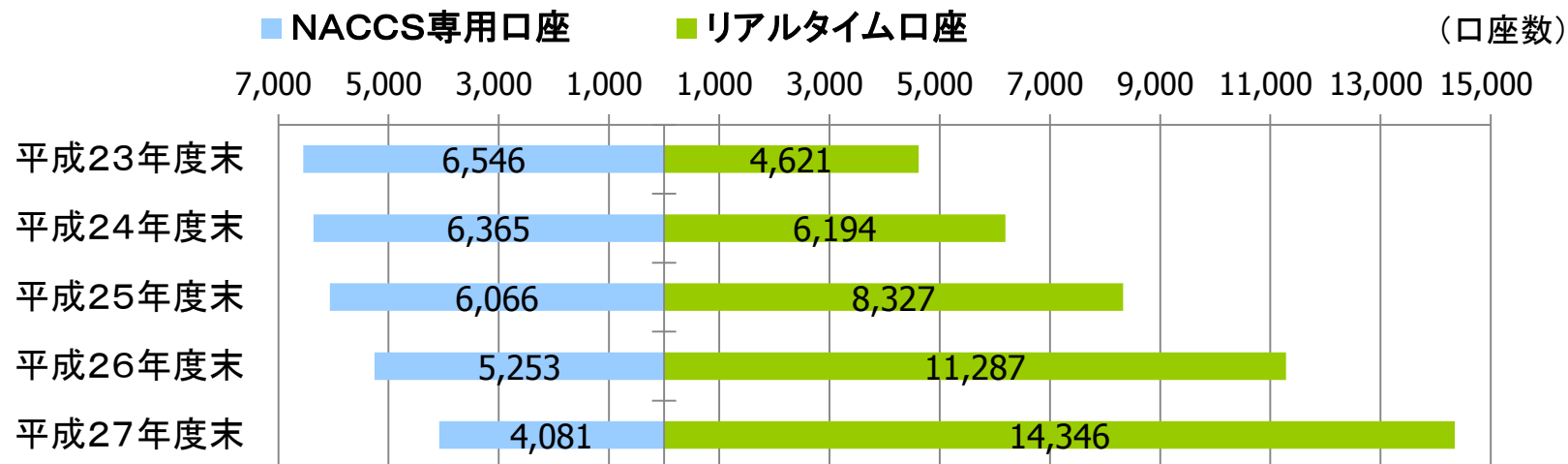
NACCS登録口座

(NACCS専用口座・リアルタイム口座)

NACCS専用口座は平成29年3月末に廃止します。(注)
お早めにリアルタイム口座への変更をお願い致します。

注:各銀行により廃止時期は異なります。

廃止後は関税等がNACCS専用口座からの引き落としが出来なくなります。



～ リアルタイム口座振替方式(ダイレクト方式)のメリット ～

- ◆ NACCS専用口座不要
関税等の納付のためだけに利用するNACCS専用口座の開設が不要となります。
- ◆ 関税等の振り替え可
一般口座から関税等を振り替えることができます。(インターネットバンキングにも対応)
- ◆ 自由に入出金可能
一般口座であるため、資金について自由に入出金することが可能となります。
- ◆ 残高不足にも即時に対応
開設口座の資金を積み増した場合、即時に反映するので残高不足が発生した場合に即時に対応することが可能となります。
(NACCS専用口座は翌日に反映)
- ◆ 振替完了通知書の出力が可能
口座振替完了を示す個別の帳票を、希望する申告者様向けに出力することができます。

VI. 第6次NACCS移行に向けてのお客様の準備について

1. 移行スケジュールの確認について

第6次NACCS更改までのスケジュールについては別添を予定しています。今後、利用申込や総合運転試験等に係る説明会を開催いたしますが、各説明会の開催日程が決まりましたら随時ご案内いたしますので、お客様の参加をお願いいたします。

2. 処理方式やネットワーク回線等のご検討

第6次NACCS更改に伴い、業務仕様、EDI仕様及びネットワーク関係について見直しが行われますが、特に以下の変更項目については、影響の有無についてご確認いただくとともに、影響がある場合は早急に対応案をご検討いただきますようお願いいたします。
なお、具体的な利用申込み及びシステム設定につきましては、説明会等でご案内する内容を必ずご確認ください。

(1) 処理方式の変更等について

- ・ ダイレクト・インターフェース（D/I）処理方式の廃止（航空）
- ・ メール処理方式パッケージソフトの提供終了（自社システム接続での利用を除く）

(2) 第6次NACCSネットワークについて

- ・ ダイアルアップ回線の提供終了
- ・ ブロードバンド回線（ADSL）の原則提供終了（注）
（注）ただし、現在ご利用いただいている場合は、継続利用が可能となります。また、ブロードバンド回線（光）が敷設できない場合に限り提供可能といたします。
- ・ 回線の航空/海上区分を廃止し、オプションメニューを追加します。

※ 次期で利用するネットワークの検討にあたっては、別添のフローチャートを参考としてください。

(3) NACCSパッケージソフトの対応OS・ブラウザの確認について

(4) 海上入出港業務等でWebNACCSをご利用される場合の留意事項

- ・ 現在netNACCSをご利用の場合、又はその他の処理方式をご利用の場合の利用開始の手順
- ・ 対応機器及び対応OS・ブラウザの確認

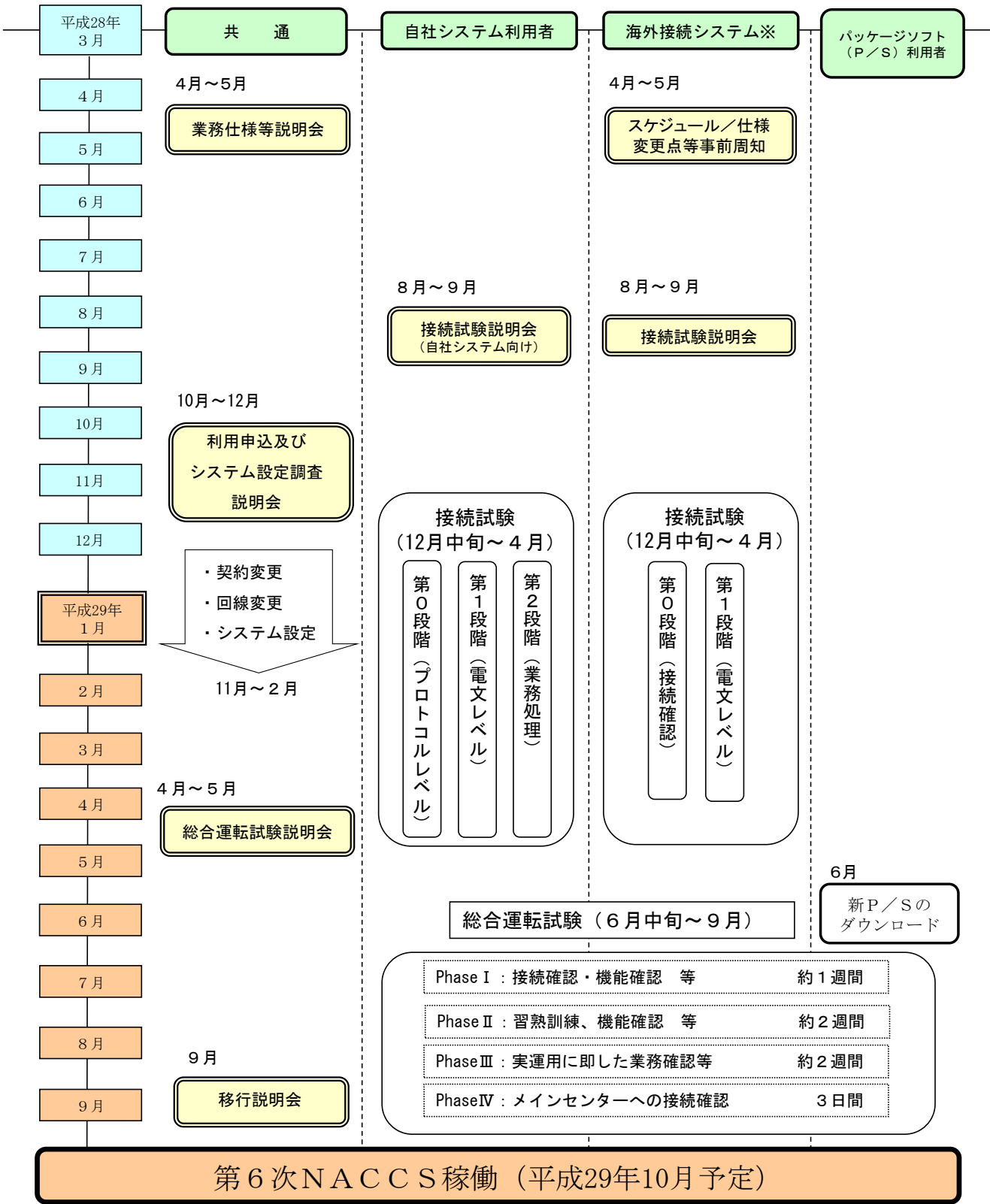
3. 海上システムの航空貨物取扱廃止に伴う対応について

第6次NACCSにおいては、海上システムによる航空貨物の取扱いを不可としますので、第6次NACCSにおいても引続き航空貨物を取扱う場合には、利用契約のシステム区分を「海上」から「共用」に変更する必要があります。

システム区分を変更する場合は、海上の業務と航空の業務が大きく異なりますので、事前に航空業務に慣れていただくため、総合運転試験（平成29年6月から9月まで実施予定）前までに「共用」に変更するようお願いいたします。

1. 移行スケジュールの確認について

第6次NACCS導入スケジュール（概要）



※ 海外接続システム：海外サービスプロバイダー、EXDOC、ARINC、SITA 等

2.(1) 処理方式等の変更について

- ・ ダイレクト・インターフェース (D/I) 処理方式は、廃止します。(航空)
- ・ メール処理方式のパッケージソフトは、提供を終了します(自社システム接続でのご利用の場合は除きます)。

現行NACCS

処理方式	自社システム 接続	電文形式	パッケージソフト 提供
インタラクティブ処理方式 (会話型)	-	NACCS-EDI電文	○
インタラクティブ処理方式 (SMTP双方向)	○	NACCS-EDI電文	-
	○	XML電文	-
インタラクティブ処理方式 (D/I)	○	NACCS-EDI電文	-
	○	XML電文	-
インタラクティブ処理方式 (webNACCS)	-	NACCS-EDI電文	○
メール処理方式	-	NACCS-EDI電文	○
	○	NACCS-EDI電文	○
	○	EDIFACT電文	-
	○	XML電文	-
ebMS処理方式	○	NACCS-EDI電文	-
	○	XML電文	-
netNACCS処理方式	-	NACCS-EDI電文	○

第6次NACCS

処理方式	自社システム 接続	電文形式	パッケージソフト 提供
インタラクティブ処理方式 (会話型)	-	NACCS-EDI電文	○
インタラクティブ処理方式 (SMTP双方向)	○	NACCS-EDI電文	-
	○	XML電文	-
インタラクティブ処理方式 (D/I)	○	NACCS-EDI電文	○
	○	XML電文	○
<u>webNACCS処理方式</u>	-	<u>ブラウザ電文</u>	<u>○</u>
メール処理方式	-	NACCS-EDI電文	○
	○	NACCS-EDI電文	○
	○	EDIFACT電文	-
	○	XML電文	-
ebMS処理方式	○	NACCS-EDI電文	-
	○	XML電文	-
netNACCS処理方式	-	NACCS-EDI電文	○

(注) 下線部は変更箇所を示す。

2. (2) 第6次NACCSネットワークについて

現行NACCS

回線種別	帯域	接続可能形態
専用線	64kbps	ルータ-接続 ゲートウェイ接続 (SMTP/POP3) ゲートウェイ接続 (SMTP双方向) ダイレクト・インターフェース接 続
	128kbps	
	192kbps	
	256kbps	
	384kbps	
	512kbps	
	1Mbps	
	3Mbps	
	5Mbps	
	10Mbps	
ダイヤルアップ回線	-	ルータ-接続 ゲートウェイ接続 (SMTP/POP3)
ブロードバンド回線 (ADSL)	上り 5 Mbps 下り 47Mbps	ルータ-接続 ゲートウェイ接続 (SMTP/POP3) ゲートウェイ接続 (SMTP双方向)
ブロードバンド回線 (光)	100Mbps	ルータ-接続 ゲートウェイ接続 (SMTP/POP3) ゲートウェイ接続 (SMTP双方向)

第6次NACCS

回線種別	帯域	接続可能形態
専用線	64kbps	ルータ-接続 ゲートウェイ接続 (SMTP/POP3) ゲートウェイ接続 (SMTP双方向) ダイレクト・インターフェース接 続
	128kbps	
	192kbps	
	256kbps	
	384kbps	
	512kbps	
	1Mbps	
	3Mbps	
	5Mbps	
	10Mbps	
注3 ダイヤルアップ回 線	-	ルータ-接続 ゲートウェイ接続 (SMTP/POP3)
注4 ブロードバンド 回線 (ADSL)	上り 5 Mbps 下り 47Mbps	ルータ-接続 ゲートウェイ接続 (SMTP/POP3) ゲートウェイ接続 (SMTP双方向)
ブロードバンド回線 (光)	100Mbps	ルータ-接続 ゲートウェイ接続 (SMTP/POP3) ゲートウェイ接続 (SMTP双方向)

注1 : 下線部は変更箇所を示します。

注2 : 専用線 (192kbps、256kbps、384kbps、512kbps) は、提供を終了します (既に申込受付を停止しています。)

注3 : ~~ダイヤルアップ回線~~は、提供を終了します。

注4 : ブロードバンド回線 (ADSL) は、ブロードバンド回線 (光) が敷設できない場合のみ提供します。現行NACCSでご利用の場合は継続利用が可能です。

2. (2) 第6次NACCSネットワークのオプションメニューについて

回線の航空/海上区分を廃止し、新たにオプションメニューを追加します。

(1) 第6次NACCS提供オプションメニュー

オプションメニュー	内容
24時間365日保守	保守対応を24時間365日実施。
予備機	ルーターの予備機を利用者側に設置する。 (注) 冗長化を選択する場合、予備機設置は行わない。
冗長化	専用線のバックアップ回線として、ブロードバンド光回線及びルーターを構成する。
Ping監視	ルーターに対して定期的にpingコマンドを発行し、ルーター及び回線の死活監視を行う。

(2) 回線種別毎に選択可能なオプション

平日日勤帯（9時～18時）の保守を希望する場合

回線メニュー	帯域等	オプションメニュー		
		予備機設置	冗長化	Ping監視
専用線	64kbps	×	×	×
	128kbps	×	×	×
	1Mbps	×	×	×
	3Mbps	×	×	×
	5Mbps	×	×	×
	10Mbps	×	×	×
ブロードバンド回線	A D S L	×	×	×
	光	×	×	×

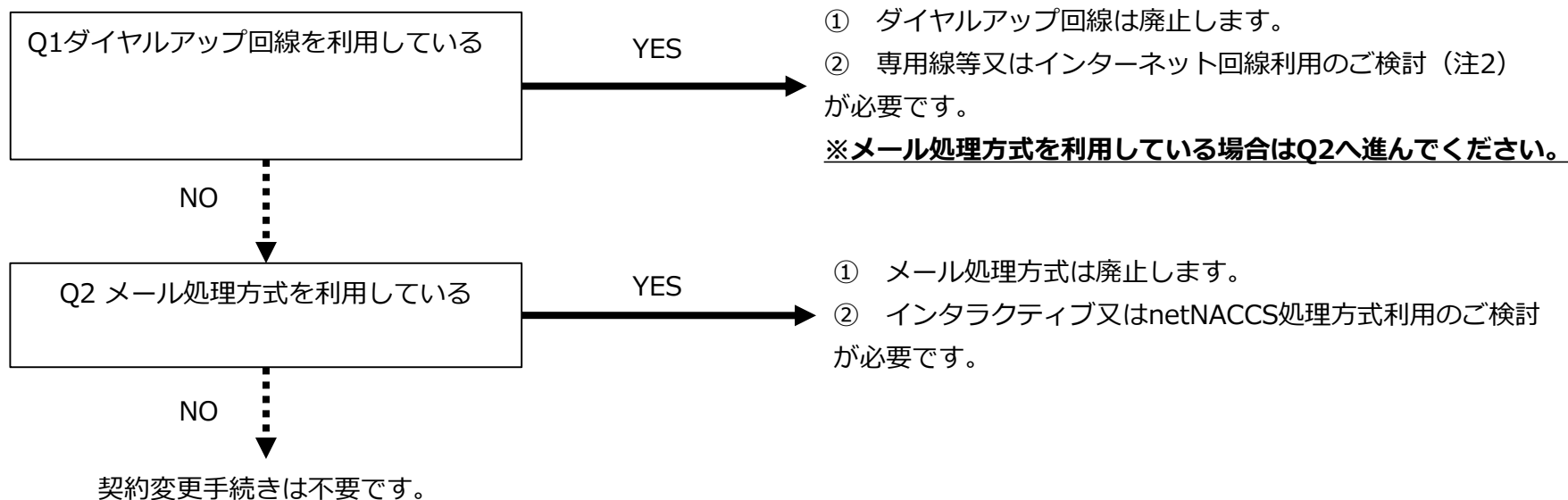
24時間365日の保守を希望する場合

回線メニュー	帯域等	オプションメニュー		
		予備機設置	冗長化	Ping監視
専用線	64kbps	○	×	○
	128kbps	○	×	○
	1Mbps	○ (注)	○	○
	3Mbps	○ (注)	○	○
	5Mbps	○ (注)	○	○
	10Mbps	○ (注)	○	○
ブロードバンド回線	A D S L	○	×	×
	光	○	×	×

(注) 冗長化を選択する場合、予備機設置は行わない。

2. (2) ネットワーク回線等ご検討のためのフローチャート

ダイヤルアップ回線をご利用の場合又はメール処理方式（自社システム接続でのご利用の場合を除く（注1））をご利用の場合は、第6次NACCS更改以降は利用不可となりますので、現行NACCS稼働中に先行して契約内容の変更手続きを行っていただきますようお願いいたします。



（注1） 自社システム接続でのメール処理方式は、第6次NACCS更改後も引き続きご利用いただけます。

（注2） 第6次NACCSの各回線の利用料金は、本年4月から開催している詳細仕様等説明会資料に掲載しています。また、インターネット回線を利用する場合は、netNACCSをご利用いただくこととなります。

2. (3) NACCSパッケージソフトの対応OS・ブラウザの確認について

第6次NACCSで提供するパッケージソフトを利用する場合は、以下のいずれかのOS及びブラウザをご用意いただく必要があります。

【対応OS】

Windows 7 (SP1)、Windows 8.1、Windows 10

【対応ブラウザ】 (注)

Internet Explorer、Chrome、Edge

(注1) : 各ブラウザの対応バージョンについては、今後の動向を踏まえて検討します。

(注2) : 現在システム（NACCSパッケージソフト及びNACCSサポートシステム（NSS））に対するWindows10の動作検証結果等について：現行のNACCSパッケージソフトに対してWindows10に係る動作検証を行った結果、不具合は発見されませんでしたので、EDI仕様書のハードウェアの動作環境にWindows10を追加する変更を行い、本年（平成28年）6月15日（水）から実施することといたします。

なお、Windows10の標準Webブラウザ「Microsoft Edge」を使用した場合、表示に不具合が生じる場合がございますので、「Internet Explorer11」を使用していただくようお願いいたします（詳細につきましては、6月15日改訂のEDI仕様書をNACCS掲示板でご参照ください。）。

NACCSサポートシステム(NSS)につきましては、第6次NACCS稼働（平成29年10月予定）後の対応となりますので、大変申し訳ありませんが「NSS操作マニュアル」に記載されたパソコンを引き続きお使いいただきますようお願いいたします。

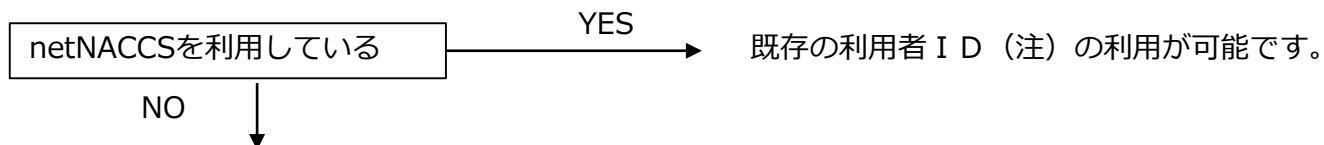
さらに、デジタル証明書取得・更新に関しまして、Windows10に対応した「netNACCS専用デジタル証明書新規取得手順書/更新手順書」につきましては、6月15日（水）にNACCS掲示板への掲載を行います。

【2016年6月10日 NACCS掲示板情報】 Windows10の検証結果について <http://www.naccscenter.com/docs/2016061000017/>

2.（4）海上入出港業務等でWebNACCS処理方式についてのご留意事項

■ WebNACCSを利用する場合の利用開始手順

現在netNACCSをご利用の場合とその他の処理方式をご利用の場合の利用開始の手順は以下のとおりです。



新たな利用者ID（注）の取得が必要なため、
契約内容の変更手続きをお願いします。

（注）：利用者IDとは、お客様（企業名）と業種単位に登録する利用者コード（5桁）と識別番号（3桁）の合計8桁のコードです。

■ WebNACCS対応機器及び対応OS・ブラウザの確認

WebNACCSで対応する機器及びOS・ブラウザについては、以下のとおりです。

【対象機器】

PC

【対応OS】

Windows 7 (SP1)、Windows 8.1、Windows 10

【対応ブラウザ】

Internet Explorer、Chrome、Edge

■ WebNACCS処理方式のみの選択で業務処理が可能な業種

WebNACCS処理方式ではEXC電文の受信が出来ないため、同方式のみで業務処理が可能は業種は、下記のとおり限定されます。

下記の業種以外の場合は、EXC型電文の受信が想定されるため、WebNACCSと他の方式（パッケージソフト、自社システム）の併用が必須となりますので、ご注意ください。

- ・ 船会社・船舶代理店（内航船業務及び外航船業務でリアルタイム口座を利用したとん税納付を行う者に限る。）
- ・ 損害保険会社

平成 28 年 4 月

ダイヤルアップ回線をご利用のお客様 各位

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

第6次NACCSにおけるダイヤルアップ回線廃止等
に伴う契約変更手続きのご案内

陽春の候、貴社におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
当社の業務運営につきまして、平素より格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成 29 年 10 月に更改予定の第6次NACCSにおきましては、NACCS掲示板等でご案内しておりますとおり、現在民間利用者ネットワークへの接続用に提供しておりますアクセス回線のうち、ダイヤルアップ回線については、その提供を廃止することとしております。

また、ダイヤルアップ回線を利用されている大多数のお客様に、お使いをいただいておりますメール処理方式のパッケージソフトについても、第6次NACCSにおいてその提供を廃止（自社システム接続での利用を除きます。）することとしております。（提供廃止理由等に関しましては、添付資料をご参照ください。）

つきましては、第6次 NACCS への更改に向けて現在ご利用をいただいているダイヤルアップ回線から他の回線種別へ、更にメール処理方式から他の処理方式への変更が必要となりますので、早急にご検討いただきますよう宜しくお願いいたします。なお、これら変更につきましては、第6次 NACCS への切替作業の都合上、遅くとも、その総合運転試験の開始（平成 29 年 6 月）前までに、現行NACCSにおいて具体的な対応をお済ませいただく必要がございます。

なお、弊社といたしましては、ダイヤルアップ回線でメール処理方式をご利用のお客様に関しましては、インターネット回線による netNACCS 処理方式への切替が最適ではないかと考えておりますので、是非ご検討ください。（専用線等の利用も可能でございます。第6次NACCSで提供する回線メニューに関しましては添付資料のとおりご案内いたしますので、当該資料等をご参考のうえ、切替先の回線種別をご検討いただければと存じます。）。

回線種別及び使用するパッケージソフト（接続処理方式）の変更につきましては、契約変更の手続きが必要となりますので、添付資料を参考の上、ご対応いただきますようお願いいたします。

（問合せ先）

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

【契約手続き関係】ソリューション事業推進部
川崎本社 利用契約事務課：044-520-6266
東海事務所：0120-794523
関西事務所：0120-794525
九州事務所：0120-794527

【第 6 次 NACCS 更改関係】システム企画部
システム企画第 1 課
Email：jiki-setsumeikai@naccs.jp

ダイヤルアップ回線及びメール処理方式の廃止について

平成28年4月

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社



1. ダイヤルアップ回線 及び メール処理方式 の廃止について

1. ダイヤルアップ回線の廃止

第6次NACCSでは、以下の理由により、ダイヤルアップ回線を廃止いたします。

- ダイヤルアップ回線はNTTのISDN回線を使用していますが、NTTはISDN回線を2020年頃より順次廃止することを発表しており、将来的にダイヤルアップ回線の提供ができなくなる。
- 比較的処理件数が少ないお客様の場合、ダイヤルアップ回線により専用回線に比べて低額な通信料金でNACCSを利用できるというメリットがありましたが、現在はインターネット接続（netNACCS）も提供しており、常時接続型の高速回線が安価に利用できるため、ダイヤルアップ回線を提供する必然性は薄れてきている。

2. メール処理方式の廃止

第6次NACCSでは、ダイヤルアップ回線をご利用の多くの皆様にお使いをいただいているメール処理方式のパッケージソフトについても廃止いたします（自社システム接続での利用を除く）。このため、パッケージソフトについては、現在下表のとおり3タイプを提供していますが、次期では新たに インタラクティブ処理方式 又は netNACCS処理方式 のいずれかをご利用いただく必要があります。

処理方式	利用ネットワーク	利用プロトコル	特 徴
インタラクティブ 処理方式	NACCSネットワーク （閉域網）	HTTP	処理要求電文を1電文送信するごとに、処理結果電文を受信する方式。 原則として常時接続タイプの回線が必要となる。
メール処理方式※ ↓ 次期で廃止	NACCSネットワーク （閉域網）	SMTP/ POP3	処理要求電文を複数一括して送信し、一定時間後、複数の処理結果電文を一括して受信する方式。 一括の送受信であるため、常時接続タイプの回線は必要としない。
netNACCS 処理方式	インターネット	HTTPS	インタラクティブ処理方式と同様の特徴を持ち、インターネットを介して送受信する方式。インターネット上においても安全な通信を行うため、クライアントデジタル証明書を使用するとともに、通信を暗号化している。

【パッケージソフト（メール処理方式）の廃止理由】

- メール処理方式は、一括送信後一定時間（現行3分）を経過しないと一括受信ができないため、即時性に欠けるデメリットがある一方、常時接続タイプの回線を必要としないため、常時接続タイプの回線コストが高額であった時代には、比較的少ない処理件数であれば、通信料金を低く抑えられるという大きなメリットがあった。
- しかしながら、現在では常時接続型回線として低廉で高速なインターネット回線が利用可能（後述）であるため、パッケージソフトの一方式としてのメール処理方式はその存在意義が薄れてきており、パッケージソフトのメール処理方式の役割は終えたと考えられる。

2. インターネット回線（netNACCS処理方式）への切替について

ダイヤルアップ回線（メール処理方式）から インターネット回線（netNACCS）への切替のお願い

現在、ダイヤルアップ回線を利用し、かつ、メール処理方式のパッケージソフトを使用しているお客様におかれましては、ダイヤルアップ回線によるメール処理方式に代替する 接続回線・接続方式 として、インターネット回線によるnetNACCS処理方式 を選択されることをお勧めいたします。

なお、インターネット回線によるnetNACCS処理方式 への 切替 につきましては、第6次NACCSへの移行作業の都合上、遅くとも、その総合運転試験の開始（平成29年6月を予定）前までに、現行NACCSにおいて 具体的な対応をお済ませいただく必要がございます。

また、業務に支障を生じることなく安全で確実な切替を実現するためには、当面は現行契約（ダイヤルアップ回線によるメール処理方式）を継続した状態で先に、インターネット回線によるnetNACCS処理方式の追加契約を行っていただき、併用*期間を設け、netNACCS処理方式による操作方法等の習熟が進んだ段階で、現行契約を廃止することをお勧めいたします。

（* 併用することに伴う追加の費用は発生しません。）

【インターネット回線の推奨理由】

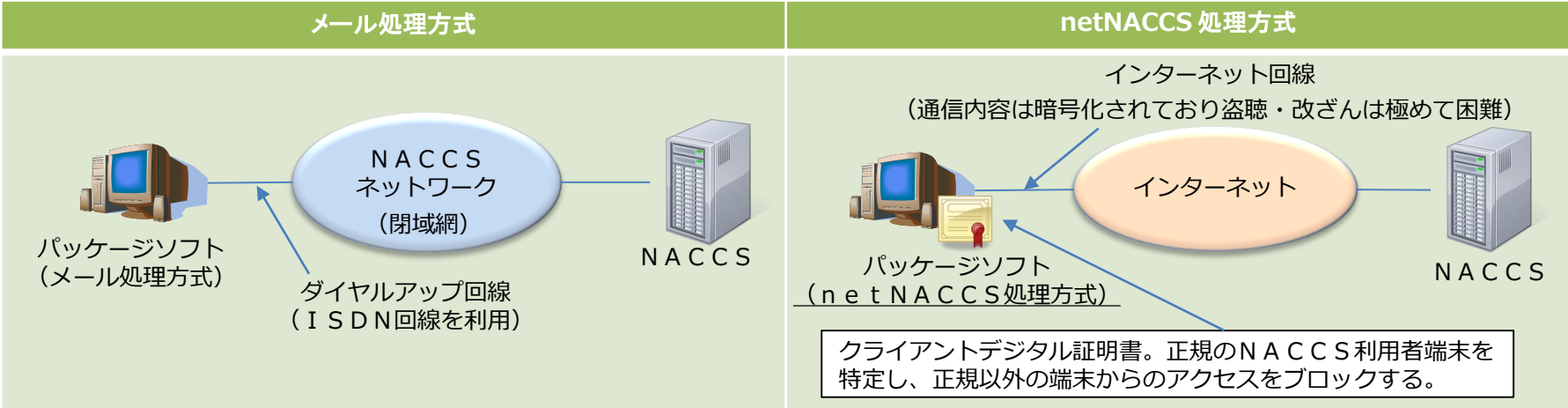
1. インターネット回線（netNACCS）の利用には、次頁 に示すように、回線使用の観点からコストメリットがあります。
2. インターネット回線を利用する netNACCS処理方式 では、クライアントデジタル証明書の導入や通信の暗号化といった適切なセキュリティ対策を施しており、セキュリティが低下することはありません。

※ ダイヤルアップ回線を、日常業務用でなく、主回線に障害が発生した場合のバックアップ回線として使用されているお客様

インターネット回線によるnetNACCS以外に 専用線又はブロードバンド回線の導入（これらの回線とパッケージソフト（インタラクティブ処理方式）の組み合わせ）による代替利用も可能と考えられます。

ご参考として、第6次NACCSで提供する回線料金表（予定）を最終ページにてご案内させていただきます。

3. パッケージソフトのメール処理方式とnetNACCS処理方式のコスト比較



パッケージソフトのメール処理方式 と netNACCS 処理方式 の通信コスト比較表 (円、税抜き※4)

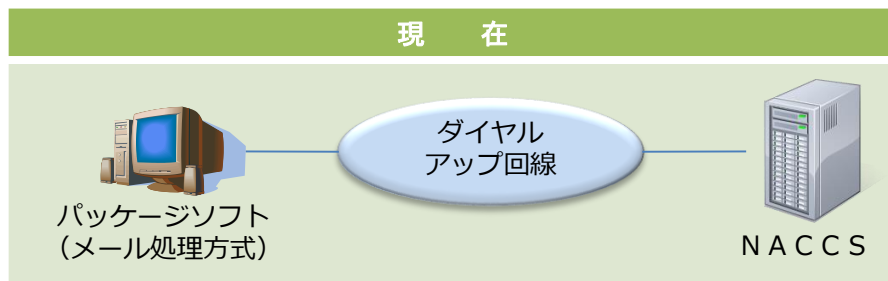
項 目	メール処理方式 + ダイヤルアップ回線		n e t N A C C S 処理方式 + インターネット回線※1	
回線速度	上り、下りとも64kbps		上り：最大1Mbps（ベストエフォート） 下り：最大12Mbps（ベストエフォート）	
初期費用	ISDN回線設置初期費※2	（契約料、工事費込）2,800円	ADSL初期工事費等（工事費、契約料込）	3,000円
	NACCSネットワーク加入料	56,000円	クライアントデジタル証明書	0円
初期費用合計		<u>58,800円</u>		<u>3,000円</u>
月額費用	NACCSルータ使用料	（海上の場合）3,700円	ADSLモデム料	0円
	ISDN基本料※2	2,650円	ADSL使用料（プロバイダ料金含む）	3,247円
	ISDN通信料※3	1,800円		
	NACCSダイヤルアップ従量料金	無制限：1,500円		
月額費用合計		<u>9,650円</u>		<u>3,247円</u>

出所：平成26年12月2日現在のOCNホームページ、NTT東日本ホームページの情報をもとにしてNACCSセンターにて作成。

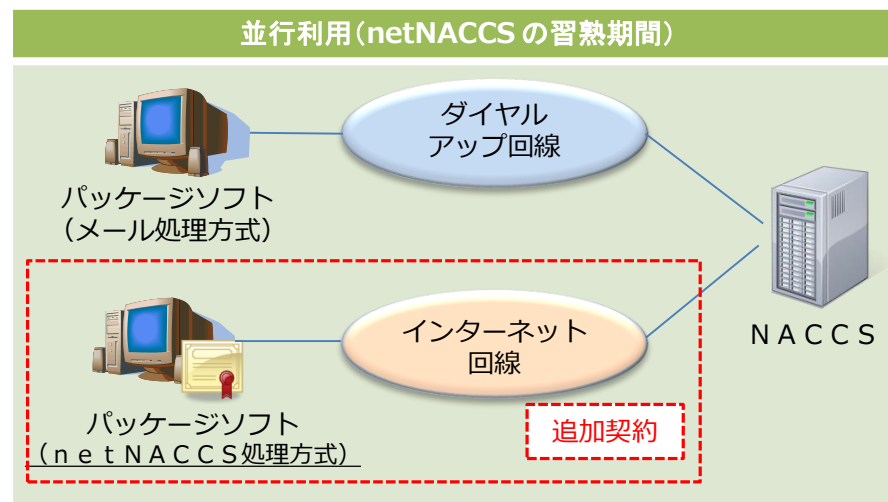
【前提】※1：インターネット回線はOCNの「OCN ADSLセット 12Mスマート タイプ2」を想定。電話回線が必要ないタイプ。
※2：ISDN回線としてNTT東日本 INSネット64・ライトを想定。
※3：市外通話30円/分 (20km～60km) にて、1日30分、月20日間のNACCS利用を想定。
※4：上記の比較にはNACCS自体の利用料金は含まれていない。

4. 切替手順のイメージ

手順1. 現 在：ダイヤルアップ回線（メール処理方式）を利用



手順2. 並行利用：ダイヤルアップ回線（メール処理方式）を継続しインターネット回線（netNACCS処理方式）を追加契約

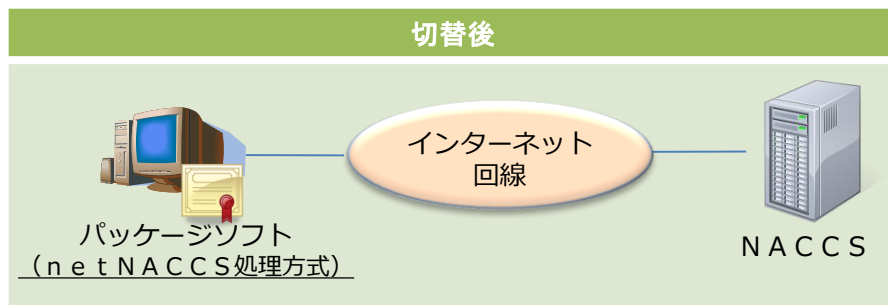


①インターネット回線（netNACCS処理方式）の追加契約
手続きをNSS経由でNACCSセンターに依頼

②netNACCS 処理方式 による操作方法等の習熟を実施

③netNACCS 処理方式 の利用に問題が無いことを確認後、
ダイヤルアップ回線（メール処理方式）については、
NSSを利用して廃止手続きを実施

手順3. 切替：ダイヤルアップ回線を廃止しインターネット回線（netNACCS）に完全切替



5. 回線切替に係る利用契約変更手続きのご案内

ダイヤルアップ回線から他の回線への切替につきましては、現行においてNACCSサポートシステム（NSS）を利用して契約変更手続きを行っていただく必要がございます。

例えば、インターネット回線（netNACCS）を追加契約する場合は、NSS（<http://www.naccscenter.com/nss/>）を利用してnetNACCS処理方式の追加申込を行ってください。また、ダイヤルアップ回線の廃止手続きについても、同様にNSSから実施可能となっています。

◆ 手順 1

NSS電子申請情報ページ

1 NSSについて

- NSSログインはこちら

変更申込

新規申込

入力例

入力例

1 NSS操作マニュアル

- 1-1 NSSとは（必ずお読みください）(984KBytes)
- 1-2 NACCSをはじめてご利用される方(1.06MBytes)
- 1-3 NACCSを既にご利用されている方(1.35MBytes)
- 1-4 詳細な操作方法(1.73MBytes)

2 NSS説明会資料(3.72MBytes)

3 NSSの利用方法（利用申込）

1 利用申込の入力例

- 1-1 新規申込
- 1-2 変更申込
- 1-3 その他の申込（契約解除・共同利用など）

2 お知らせ

- ・【重要】2016年2月
でなくなります（
Windows 10につい
・NACCSアクセス
(2015.6.19)
・【重要】管理責任
・過去のお知らせ
・NACCSサポートシ
・NSSログインID等の発

4 NSSの利用方法

- 1 システム設定の前に
～システム設定書類の
2 システム設定の入力
2-1 システム設定

◆ 手順 2

利用申込の入力例(変更申込)

ログインはこちら

変更申込

※変更する項目を複数選択することで、1回の変更申込により複数の情報をまとめて変更することができます。
※申込内容によっては、添付書類（システム構成図、委任状（共同利用）、電文別添付提供申込書）の添付が必要となります。
※その他の申込（契約解除・共同利用など）の入力例は、こちらを参照してください。

申込の前に	NACCSを既にご利用されている方 (1.35MBytes) 変更申込の手続見直し (1.10KBytes) 利用者IDのシングルサインオンのグループ構成 (94.9KBytes)
-------	--

変更申込	
1	企業名変更 企業名の変更申込 (2.22MBytes)
2	契約者変更 契約者の変更申込 (2.07MBytes)
3	本社所在地変更 本社所在地の変更申込 (1.61MBytes)
10	業種の追加・廃止 業種の追加・廃止 (2.07MBytes)
11	netNACCS端末追加 netNACCS端末の追加申込 (2.3MBytes)
12	netNACCS端末廃止 netNACCS端末の廃止申込 (1.86MBytes)
13	netNACCS端末のシステム区分変更 netNACCS端末のシステム区分変更 (2.06MBytes)
14	NACCS通信回線追加 NACCS通信回線追加 (2.39MBytes) ※システム構成図の添付が必要です。
15-1	NACCS通信回線廃止 NACCS通信回線廃止 (2.11MBytes)
15-2	ダイヤルアップ回線廃止 ダイヤルアップ回線廃止 (2.75MBytes)
15-3	専用線（インタラクティブ端末）廃止 専用線（インタラクティブ 端末）廃止 (2.72MBytes)

参考. 民間利用者用回線メニュー（現行／次期統一料金）（今後の検討によっては、変動の可能性有り）

種 別		単 位	～H29.6	H29.7～ H31.9	H31.10～ H33.9	H33.10～
センターに支払うべき費用						
○ 回線初期費用						
ネットワーク加入料（注1）						
1回線毎	64kbps、 128kbps	予備機なし		88,000		
		予備機あり		135,000		
	1Mbps以上	予備機なし		98,000		
		予備機あり		169,000		
		冗長化	—	270,000		
○ 回線使用料等						
回線使用料						
1回線毎 に月額	64kbps の場合		19,760	20,700	26,000	36,000
	128kbps の場合		29,760	30,700	36,000	41,000
	1Mbps の場合		80,000	36,000	33,800	31,800
	冗長化（BB光）		—	54,900	52,700	50,700
	3Mbps の場合		140,000	91,000	71,000	51,000
	冗長化（BB光）		—	109,900	89,900	69,900
	5Mbps の場合		180,000	101,000	81,000	61,000
	冗長化（BB光）		—	119,900	99,900	79,900
	10Mbps の場合		260,000	121,000	101,000	81,000
	冗長化（BB光）		—	139,900	119,900	99,900
屋内配線使用料 （冗長化選択時に加算）		1回線毎 に月額	—	1,000		
ルーター使用料（注2）						
64Kbps、 128Kbps	平日9時～18時 保守	1回線毎 に月額		3,700		
	24 時 間 365 日 保守			5,600		
	24 時 間 365 日 保守/予備機あり		29,700	11,200		
1 Mbps以上	平日9時～18時 保守	1回線毎 に月額		5,200		
	24 時 間 365 日 保守			5,800		
	24 時 間 365 日 保守/予備機あり		27,100	11,600		
	24 時 間 365 日 保守/冗長化		—	21,000		
オプション						
Ping監視（注5）		1回線毎 に月額	—	2,000		
回線工事費（移転・変更等）				実費相当分		

種 別		単 位	～H29.6	H29.7～ H31.9	H31.10～ H33.9	H33.10 ～
センターに支払うべき費用						
○ 回線初期費用						
ネットワーク加入料（注1）						
1回線毎	ADSL回線接続 の場合	予備機なし		85,000		
		予備機あり		130,000		
	光回線接続 の場合	予備機なし		98,000		
		予備機あり		169,000		
○ 回線使用料等						
回線使用料						
1回線毎 に月額	ADSL回線接続 の場合	平日9時～ 18時保守 24時間 365日保守	9,490	10,490		
			12,490	13,490		
	光回線接続 の場合	平日9時～ 18時保守 24時間 365日保守	12,400	13,400		
			18,900	19,900		
屋内配線使用料						
1回線毎 に月額	ADSL回線接続の場合		60	0		
	光回線接続の場合			1,000		
ルーター使用料（注2、3）						
1回線毎 に月額	ADSL回線接続 の場合（注4）	平日9時～ 18時保守 24時間 365日保守		5,200		
				5,800		
				11,600（予備機あり）		
	光回線接続 の場合	平日9時～ 18時保守 24時間 365日保守		5,200		
				5,800		
				11,600（予備機あり）		
回線工事費（移転・変更等）等				実費相当分		

備考：本料金表で示す利用料金は現時点の予定価格であり、今後、見直す可能性がある。

（注） 1 ネットワーク加入料には、ルーター設置費用を含む。

2 ルーター使用料には保守費を含む。

3 ADSL回線は上り5Mbps、下り47Mbpsタイプを、光回線は100Mbpsベストエフォートである。なお、ADSL回線、光回線はNACCSネットワークに接続するための専用アクセス回線であり、インターネット接続には利用できない。

4 ADSL回線は光BB回線が利用不可の地域に限り、新規受付を行う。

5 冗長化はメインを1～10Mbpsの専用線、バックをBB光回線の構成とする。また、冗長化を選択した場合には、Ping監視が無料で提供される。